



「学校評価」のまとめ

<平成30年度「学校評価」アンケート集計結果と考察③>

「德育」についての評価結果

* 4段階評価

徳 育	道徳教育 (思いやりや感謝の心)	規範意識 (あいさつやマナー遵守)	奉仕活動 (清掃やボランティア活動)	学級経営 (学級生活の充実)
生 徒	3. 51	3. 46	3. 29	3. 26
	3. 46	3. 49	3. 30	3. 22
保 護 者	3. 10	3. 13	2. 99	3. 02
	3. 14	3. 19	3. 11	2. 90
教 師	3. 10	3. 42	3. 42	3. 10
	3. 15	3. 47	3. 80	3. 13

「德育」においても教師は、すべてにおいて後期の評価が前期を上回っていますが、保護者の評価も高いことが分かります。また、生徒の評価も決して低くなく、低くないどころか道徳教育や規範意識については高評価となっています。

<道徳教育(思いやりや感謝の心)>

○ ほんの僅か低くなったものの、思いやりの心をもって行動し、感謝の気持ちを表現できる生徒が大多数に及んでいることが分かります。保護者も教師の評価も高く、本校生徒の道徳心ははぐくまれている様子を見て取ることができます。来年度から道徳は「特別の教科 道徳」として教科の仲間となります。授業の一層の充実を期すとともに、学校の教育活動全体を通して、より一層の道徳心をはぐくまれるように努めていきます。

<規範意識(あいさつやマナー遵守)>

○ 本校生徒の規範意識(マナーやルールの遵守)が高いことが分かります。生徒だけの自己評価に止まらず、教師もそれを追認し、保護者も同調していることは、その裏付けがしっかり取れていることが分かります。この傾向が継続するよう、学校と家庭が手を携えて生徒にかかわっていきたいと考えます。

<奉仕活動(清掃やボランティア活動)>

○ こちらの評価も高くなっています。清掃活動やボランティア活動など、本校生徒の奉仕的精神の高さは他に誇れるものがあります。立派な伝統として後輩にも引き継いでいってほしい本校の柱の一つと言えます。

<学級生活の充実>

○ 学校生活の基盤とも言える学級生活の満足度ですから、高評価であればあるほどいいわけです。生徒の評価は、前期を上回ることはできなかったものの、引き続き高くなっています。教師から見た生徒たちの学級生活の様子からもよい傾向にあることがうかがえます。その一方で、保護者の評価が低くなっている点になります。保護者の評価を真摯に受け止め、生徒も保護者も“良し”とする学級経営に努めていく必要があります。

第20回 NHK 全国俳句大会ジュニアの部 入選

本校から標記の大会に出品したところ、4名の生徒が入選となりました。いずれの俳句も、もっと上位入賞でもいいのではないかと思える秀作です。

入賞した作品は次の4作品です。

「うつうつと ゆれるわが身に 花も笑む」	3年	〇〇	〇〇さん
「藍色の 夏空走る 流れ星」	3年	〇〇	〇〇さん
「萬緑の 山を眺める 帰り道」	3年	〇〇	〇〇さん
「雪あられ 白のたましい 降り下りる」	3年	〇〇	〇〇さん



裏面には、学校評価④「体育」についてまとめました。



「学校評価」のまとめ

<平成30年度「学校評価」アンケート集計結果と考察④>

「体育」についての評価結果

体 育	部活動	規則正しい生活	メディア コントロール	相談体制 (教師)	相談体制 (SC・相談員)
生 徒	3. 65	3. 21	2. 86	2. 90	3. 75
	3. 69	3. 57	2. 88	2. 78	3. 77
保護者	3. 22	2. 69	2. 39	2. 61	3. 81
	3. 31	2. 73	2. 26	2. 61	3. 71
教 師	3. 58	3. 58	3. 17	3. 25	3. 25
	3. 53	3. 53	3. 27	3. 40	3. 53

心と体の健康ということで、それに類するものをここでまとめました。

<部活動>

○ 生徒、保護者、教師そろい踏みの高評価が部活動です。前期の高評価を更に上回る結果となりました。生徒たちの部活動に対する意気込みがひしひしと伝わってきます。生徒の意欲に保護者の熱心な応援とサポートと顧問の熱意が加わり、このような評価になったものと思われます。校長室には、トロフィーや盾が置くとところがないほど並んでいて、目映いばかりの輝きを放っています。

<規則正しい生活>

○ 生徒たちの評価と保護者の評価に大きな開きがあります。「早寝・早起き・朝ご飯」という視点から規則正しい生活を問うたものですが、食事や睡眠をはじめとする家庭における生活習慣が気になることです。家庭生活に大きく関わることであるため、家庭との連携を密にし、望ましい生活習慣の確立に努めていく必要があります。学校でも心身の健康管理を怠ることなく行っていきます。

<メディアコントロール>

○ メディアコントロールは喫緊の課題であり、もっと高評価にならないといけない項目でもあります。テレビやゲーム、あるいはiPadやスマートフォンなど、自己制御が最も必要な分野と言えます。社会的な事件や事故が後を絶たない現状に鑑み、保護者の管理責任が大きいことを考えれば、家庭内におけるルールの確立は必須です。「松二中学区スタンダード」にも載っているSNSやインターネット利用についてのルールを決め、セルフコントロールが確立するために、保護者のかかわりは不可欠です。学校でも情報モラルの学習等を通して啓発し、家庭との連携も密にしていかなければならないと考えています。

<相談体制(教師)>

○ 相談体制を整え、いつでも、どこでも、誰にでも気軽に相談できるように努めてきたところではありますが、生徒と保護者の評価から、更なる工夫が求められます。相談は信頼関係の上になり立つものであることから、教師と生徒、教師と保護者の信頼関係づくりはとても重要です。信頼関係の構築と相談しやすい雰囲気づくりに、より一層努めていかなければならないと考えます。

<相談体制(SC・相談員)>

○ その一方で、こちらの評価においては、生徒は部活動を上回る評価となっています。保護者の評価も全項目中最高値となっています。本校のSC(スクールカウンセラー)や生活相談員が、身近な存在ととらえており、好ましい状況と考えます。これからも、気になることがあれば、SCや生活相談員を身近な存在と考え、いつでも気軽に相談してほしいと考えます。

猛威を振るうインフルエンザ！！

福島県感染症発生動向調査によりますと、インフルエンザ患者報告数が増加の一途を辿り、“警報レベル”になっています。

うがい、手洗い、マスク着用の励行はもとより、規則正しい生活に心がけ、体調が悪いときには外出や運動は控えることが大切です。

インフルエンザが疑われるような場合は、速やかに医療機関を受診してください。

